

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	健康長寿課
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援
分野別方針	(1) 高齢者の社会参加の支援
実施計画事業	1) 高齢者生きがい対策事業 (No.1)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	高齢者祝金事業	88.8%	B
02	高齢者団体育成経費 (老人クラブ連合会活動支援)	100.0%	A
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者祝金事業については、対象者等の検討が必要 ・老人クラブについては、今後ますます増える多くの高齢者の受け皿の場となれるよう魅力ある活動の展開 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない (休止・廃止)	B
	説明	高齢者福祉の増進を図る一方で、お祝金については高齢者の増加に伴い対象者の見直しが必要と考える。また、老人クラブについては、高齢化が進む中で健康づくりや介護予防事業など町の施策にも積極的に取り組んでおり、高齢者の社会参加、仲間づくり、生きがいづくりの場として期待される団体であると考えます

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	お祝金については、平均寿命の延伸により高齢化がますます進むことによる見直しは必要と考える。老人クラブについては、団塊の世代が高齢化してきたことで旧態依然とした活動でなく社会貢献や健康づくりなど魅力的な活動を行うことで会員の増強を図る必要があると考えます。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	敬老祝金は、今後も支出額が増え続けると予測される。社会保障や高齢者福祉に要する経費が増加する中で、祝金の意義等について検討する必要があるのではないかと。また、老人クラブについては、高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の一助として、また、ボランティア活動等による地域への貢献の観点から、非常に重要な団体であると考えている。高齢者の価値観が多様化する中で、加入したいと思える事業展開を町も老人クラブと一緒に考えていく必要があると思う。		